

赤白

貝塚市立二色小学校 校長室だより第15号

H22年10月5日発行

貝塚市二色1-3-1

Tel 072-438-2925

Fax

体育大会での温かいご声援、ありがとうございました。

秋が深まっています。寝冷えに気をつけましょう。

読書好きになるには・・・

朝晩涼しさが増し、食欲も増し、体を動かすにもよい季節です。子ども達も、よく外で楽しそうに遊んでいます。「読書の秋」ともいいますので、読書が楽しめるといいですね。

「うちの子、本は読まないです・・・。」「図鑑や漫画ばかり読んでいるのですが。」「本を読むと、文章の読解力がつくそうだけど、うちは文を読むのが嫌いみたい。」など、よく聞きます。お宅ではいかがですか？

ちょうど昨日の朝日新聞に、「本が好きになる」「**満足するまで読み聞かせ 親が楽しむ姿も見せよう**」という見出しを発見しました。「**するために本を読む**」より、「**本を楽しむ**」が答えのようですね。『高校生に読み聞かせを』というスローガンさえ見たことがあります。文字が書けたらすぐ、「**読みなさい**」「**自分で読みなさい**」は、明らかに本嫌い・本離れを生みます。読むのは『**しんどい**』(めんどくさい)作業ですから。

また、その子その子によって入り口のジャンルは何であってもよいそうです。あまり一つのことに偏っていたら、「**の本も楽しいよ。**」と誘ってあげるのもいいようです。また、漫画も止める必要はないそうです。手塚治虫の息子さんが少年の頃、お母さんから「そんな変な本は読んでではダメですよ。」と言われたけれど、お父さんの手塚氏は「どんな本でも読ませなさい。そうすれば自然に良書を手にするようになる。」と言って、止めなかったというエピソードも読んだことがあります。「そんなものかしら・・・？」と当時は思いましたが、悪い本はすぐ飽きるので、そうかもしれませんね。なかなかすごい親だと感心しました。

本校では図書ボランティアさんも多く来て下さり、図書室が整備され各種読み聞かせがよく行われているので、その中でお気に入りの一冊が見つかるといいですね。

でも、一番いいのはお母さんの読み聞かせ。お父さんのも素敵ですね。美声のお母さんもいいし、ハスキーなお母さんもいい、ちょっと恐そうなお母さんの声もまたいいです。おばあさんのもおじいさんのもうれしいです。宇野重吉・吉永小百合・市原悦子各氏のCDなどもありますが、電子音より「**肉声**」です。秋の夜長・・・チャレンジしてみませんか？3日坊主でもいいですから。

もう既に自分でたくさん本が読める人は、弟や妹に読んであげるのもいいですね。低学年との交流の時などにも読んであげてください。

裏に東京都の小学校の司書、米村和美さん(58)のお薦めの本10冊を載せておきます。(前述10/4付け新聞より)

うちは、こんなふうには読書していません、読書嫌いで困っています、おすすめの一冊などありましたらお寄せください。

(できれば学年とお名前を

)



米村さんお薦めの10冊

- ・チョウチョウ通りのゆかいななかまたちシリーズ (あすなる書房)
- ・ものぐさトミー (岩波書店)
- ・くまの子ウーフ (ポプラ社)
- ・ジェインの毛布 (偕成社)
- ・火曜日のごちそうはひきがえる (評論社)
- ・ネコのタクシー (福音館書店)
- ・魔女学校の一年生 (評論社)
- ・ぶりっかすの神様 (偕成社)
- ・山の上の火 (岩波書店)
- ・ちび竜と魔法の実 (偕成社)

五味太郎さんの絵本
エリックカールさんの絵本
せなけいこさん貼り絵絵本
佐野洋子さん「100万回生きたねこ」
" 「おぼえているよ大きな木」

ださい。

本屋さんや図書館で見つけたら親子で読んでみてく

絵も楽しめます。 (山本お薦め)